

栃木市人権施策推進プラン第3期計画

(2024～2028年度)



みんなで一緒に
考えようね

誇れる栃木市に
したいな

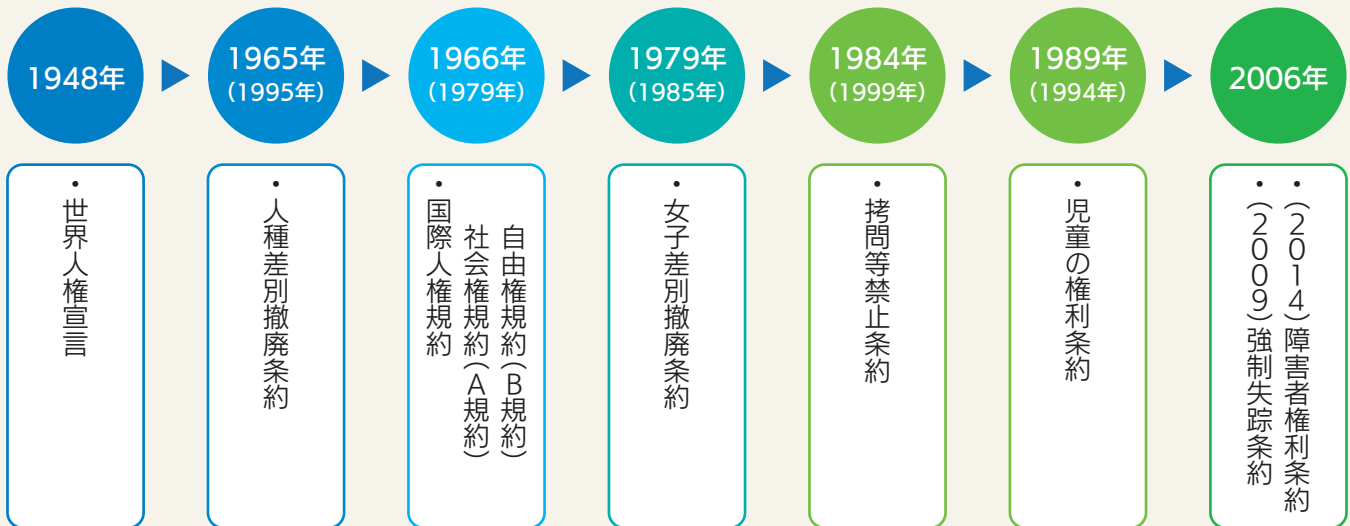
人権尊重の社会をめざして

～こころ和み、みんな笑顔のあったか“とちぎ”～

- 市民一人ひとりがお互いを認め合い、個性と能力を十分に発揮することができる栃木市
- 人と人が支え合い、心豊かに暮らすことができる栃木市
- 多様性が尊重され、だれもが自分らしく生きることができる栃木市

国際的な動きを見てみよう！

《世界人権宣言と主な人権条約》



※ () の中は日本が批准/加入年

※ 強制失踪条約; 拉致を含む強制失踪を犯罪と定め、その処罰の枠組みの確保及び予防に向け締約国がとるべき措置等について規定しています。

ねえ、「世界人権宣言」って知ってる？1948年に採択されて、2023年には75周年を迎えたんだよ。



そう、すべての人間は、人種、皮膚の色、性、言語、宗教、政治上その他の意見、国民的もしくは社会的出身、財産、門地その他の地位等により差別を受けることなく**自由**であるということなんだ。みんな**平等**なんだよ。

20世紀は、世界を巻き込んだ戦争が二度も起こり、特定の人種の迫害、大量虐殺等、人権の侵害や抑制が横行した。こうした悲劇を二度と繰り返してはならないという反省から、設立された国際連合（国連）が、「**人権を保障することが世界平和につながる**」として、目標や基準を定めたものだよ。



人は、一人では生きていけない。自分の人権は大切だし、尊重してもらいたい。でも、相手の人権も同じように大切にしないとね。一緒に生きていくということだから。自分と同じように相手を敬うこと、思いやりの心が大切だと思う。それも、世界が**平和**でないと実現できないよね。

人権の尊重が平和の基盤となります。

「SDGs」について考えてみましょう!

「SDGs (エスディー・ジーズ)」って聞くけど、人権と関係あるのかな? 世界で広がる**貧困・格差・地球環境の危機**を克服し、「持続可能な社会・経済・環境」を目指す、世界共通の目標だよ。



一人ひとり、みんなが意識して行動することが大切なんだね。



2016年から2030年までの15年間で、平和に暮らせる持続可能な世界、「**誰一人取り残さない**」社会を目指しているんだ。世界中の国々がこの問題に取り組むことで、「**すべての人が尊厳を持って生きることができ**る世界を実現する」ってことだね。



- 持続可能な開発報告書2023年版では、日本のSDGs達成度は166か国中21位。(前年は、163か国中19位。)
- 「達成済み」「課題が残る」「重要な課題がある」
- 「深刻な課題がある」の4段階で評価している。

日本の評価をしてみると、こんな課題が・・・

評価: (☹️) (☹️) (☹️)

目標5 ジェンダー

5 ジェンダー平等を実現しよう



日本は、ジェンダーギャップ指数がまだまだ低い。国会議員(衆院議員)の女性比率の低さと男女の賃金格差が特に問題とされたんだ。ジェンダー平等を達成し、すべての女性及び女性の活躍を後押ししよう。

評価: (☹️) (☹️)

目標8 経済成長と雇用

8 働きがいも経済成長も



効率を考えることも大事だけれど、継続を考えれば、「働きがいのある人間らしい雇用(ディーセント・ワーク)を促進する」ことも大事だよ。

評価: (☹️)

目標16 平和

16 平和と公正をすべての人に



残念ながら、世界各地で武力による紛争が絶えないね。子どもを含め、尊い命が犠牲になるなんてあってはならないよね。みんなで声をあげよう。

評価: (☹️)

目標1 貧困

1 貧困をなくそう



子どもの貧困も含め、あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせるため社会で支える仕組みを強化しよう。

評価: (☹️) (☹️) (☹️) 深刻な課題がある

評価: (☹️) (☹️) 重要な課題がある

評価: (☹️) 課題が残る

ほかにも、目標とする**持続可能な世界**のためにしなければならないことがいろいろあるよ。誰かのためにすることが、自分のためにもなるんだよ。

みなさんも、身近なところから「SDGs」を始めてみましょう!



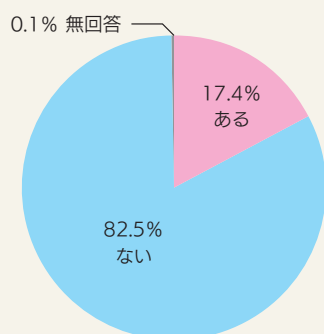
市民意識調査を見てください！

栃木市では、令和4年に人権問題に関する市民意識調査を実施し、それによると「人権侵害を受けた」と答えた割合は、**17.4%**。「人権侵害をしたと思う」は**1.9%**であり、差別をする側とされる側の乖離^{かいり}が見られるね。

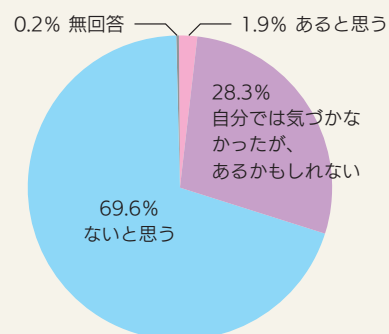
「自分では気づかなかったが、あるかもしれない」が**28.3%**であり、気に留めている状況がうかがえるね。



問 あなたは、この5年間にご自分の人権を侵害されたと思ったことはありますか？
(n=1,123)



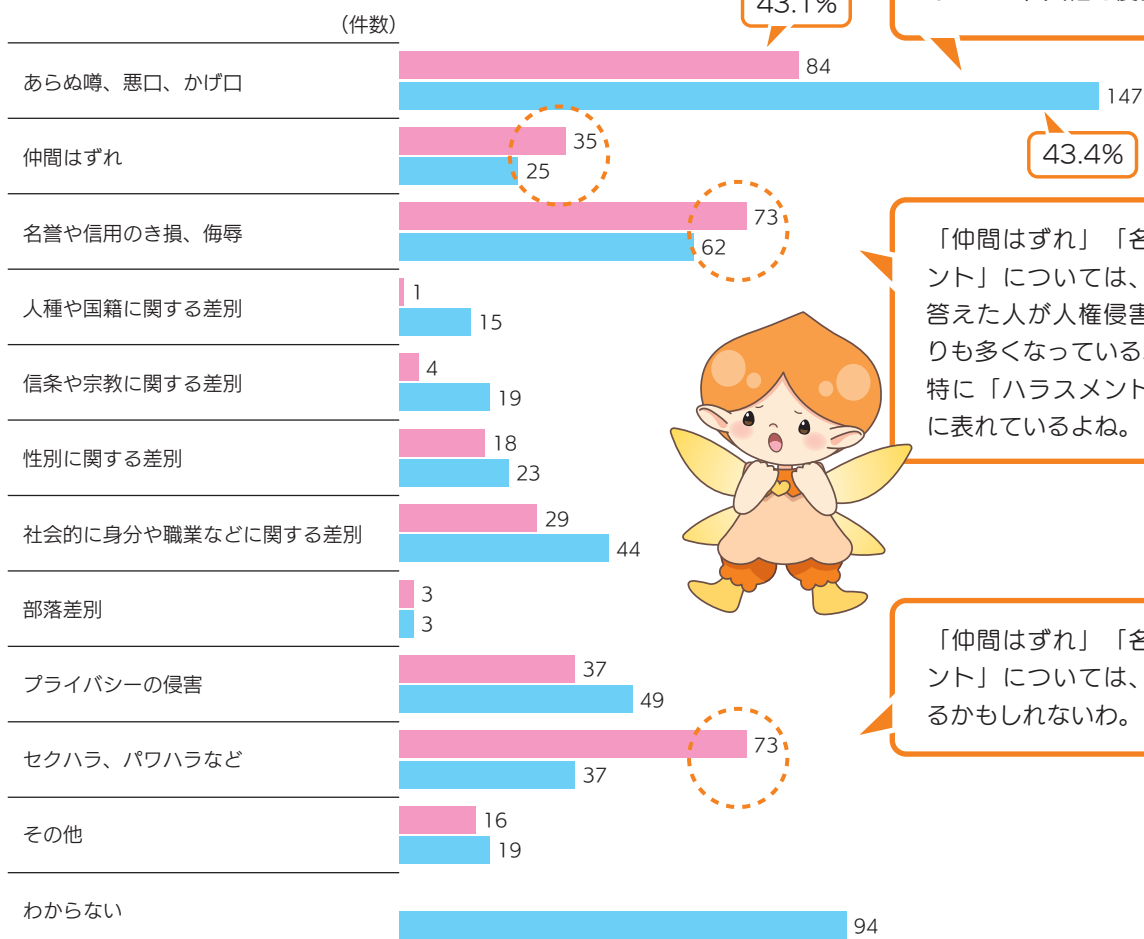
問 あなたは、この5年間に他人の人権を侵害したことがあると思いますか？
(n=1,123)



出典：市民人権意識調査（令和4年実施）

その内容を比べると…

■ 人権を侵害されたと答えた人 (n=195)
■ 人権を侵害したと答えた人 (n=339)



差別をする側、される側の双方で、「あらぬ噂、悪口、かげ口」が全体の約4割を占めていて、人権を侵害しやすいのかな。

「仲間はずれ」「名誉き損」「ハラスメント」については、人権侵害を受けたと答えた人が人権侵害をしたと答えた人よりも多くなっているわね。特に「ハラスメント」については、顕著^{けんちやく}に表れているよね。

「仲間はずれ」「名誉き損」「ハラスメント」については、考えてみる必要があるかもしれないわ。



1 男女の人権問題では…

- 女性の6割が、栃木市が取り組むべき人権課題として選んでいる。

婚姻後の姓は…

- 「男性の姓を選ぶべき」、「当事者2人の意見を尊重して、どちらかの姓を選べばよい」が減り、「夫婦別姓を認める法律が必要である（選択的夫婦別姓制度を含む）」が増えている。

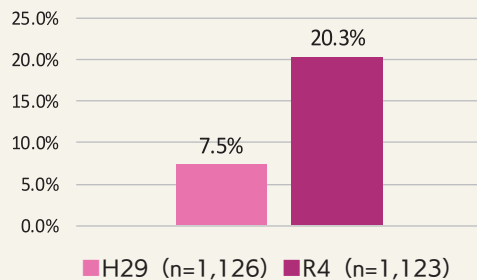
ほかにもこんな意見が…

- 昔よりは男女の差はなくなったと思うが、いまだに女性はこうあるべき、男性が稼いであたりまえという考えの方は多いと思う。
- DV（ドメスティックバイオレンス）は、あってはならない。
- 先進国に比べ、まだまだ遅れている日本。同等であるべきと思う。

これからの取組

- ①人権尊重とジェンダー平等の教育・啓発の推進
- ②女性活躍と多様な生き方への支援
- ③性と生（命）の尊重

「夫婦別姓を認める法律が必要である」と答えた人の割合（%）



親の貧困が世代を超えて子どもに連鎖する「貧困の連鎖」や、家事や家族の世話などを日常的に行う「ヤングケアラー」が問題となっています。子ども自身が、「基本的人権の権利主体である」という認識が大切だと思うよ。



「しつけ」といった児童虐待から命を救えなかったニュースが繰り返し報道されているけど、どうしたら救えるかももう一度考えてみて…

2 子どもの人権問題では…

- 男女ともに、7割以上の方が、栃木市が取り組むべき人権課題として選んでいる。

ほかにもこんな意見が…

- 子どもに対する虐待件数が全体的に右肩上がりであること。加えて諸外国と比較し、法整備が遅れている。
- 日本の子どもの貧困率は先進国のなかでも最悪な水準にあるとよく聞く。貧困が虐待、育児放棄につながってくるので、生活保護等で支援する体制が必要。
- 子どもの権利条約を実現できるように取り組んでほしい。

これからの取組

- ①子どもの人権を尊重する教育・啓発の推進
- ②いじめや不登校等の問題に対する取組
- ③児童虐待防止対策の充実
- ④健やかな成長への取組

- 2023年の日本のジェンダーギャップ指数
- 146か国中125位で、前年（146か国中116位）から9ランクダウン。

- 政治分野（138位）、経済分野（123位）に課題。
- 衆議院の女性議員比率は1割。労働参加率の男女比、同一労働での賃金格差などあらゆる項目に課題があり、特に女性管理職比率の低さは、世界的にみても下位に位置している。

他の国が格差解消の取り組みを進める間、日本は足踏みしてきたと言えるかな。



改姓すると職業生活上や日常生活上の不便や不利益、アイデンティティの喪失などがあるとの意見が寄せられているよ。

③ 高齢者の人権問題では…

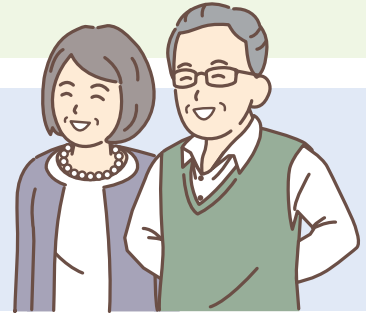
- ・ 栃木市が取り組むべき人権課題として、5割以上の人を選んでいる。

ほかにもこんな意見が…

- ・ 高齢者はもちろんだが、介護者へのフォローも必要だと思う。ストレスから虐待、邪魔者扱いにつながる場合もある。
- ・ 高齢者が非常に増加しており、それに伴っての虐待、ネグレクト、家族関係の希薄化が多くなっている。国全体の問題でもあるが、大きな課題として取り組んでほしい。
- ・ TV、SNSなど詐欺被害の話をよく見聞きする。
- ・ 体力も判断力もおとろえてくるので、まわりの助けが必要。

これからの取組

- ① 高齢者の人権を尊重する教育・啓発の推進
- ② 高齢者の尊厳の確保
- ③ 高齢者の自立支援と生きがいづくりの推進



4 障がいのある人の人権問題では…

- ・ 栃木市が取り組むべき人権課題として、約5割の人を選んでいる。

ほかにもこんな意見が…

- ・ 日本は障がい者にとって、住みやすい国ではないと感じる。東京パラリンピックを機に、障がい者のたくましさ、すごさを感じた人は多いと思う。子どもの頃から、障がい者と接する機会が必要。
- ・ 公共交通、諸々の施設を障がい者の方々の目線で見ると!!
- ・ どんな人でも住みやすいと思われる場所になってほしい。
- ・ みんなと一緒に考えたり、社会で同じ目線で生きられるように。

これからの取組

- ① 障がい特性及び障がい者に対する理解の促進
- ② 障がい者の人権の尊重と権利擁護の推進
- ③ 就労支援と社会参加の促進

「障害者差別解消法」では、本人と十分話し合い、個別に対応する「合理的配慮」が求められています。



バリアフリーは、その名の通りバリア、つまり障がいを除去するという意味です。障がいのある人を前提に、その人にとっての障がいを排除しようという考え方です。

これに対してユニバーサルデザインは、できるだけはじめからバリアのないデザインにしようという考え方です。さまざまな障がいがある人々にも便利であるだけでなく、外国籍の人、お年寄り、子どもにも使いやすくしようというのがユニバーサルデザインの趣旨です。



5 部落差別（同和問題）の人権問題では…

・「あまり深く掘り下げなくてもじきに無くなると思う」「寝た子を起こすな」などの意見も見受けられた。しかし、インターネット上の差別表現等に対し、傍観する立場では差別はなくなる。部落差別に対する正しい理解が差別解消につながる。

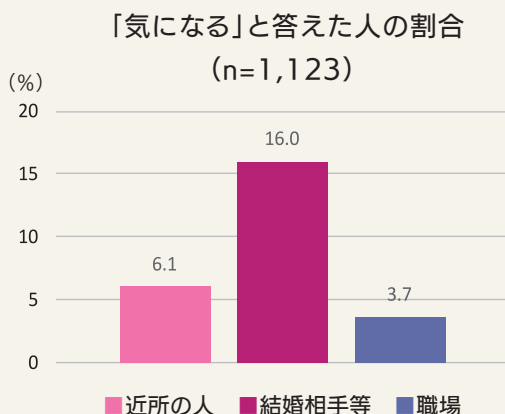
ほかにもこんな意見が…

- ・結婚となると考えてしまう。
- ・正しく理解している人が少ないと思う。

これからの取組

- ① 偏見や忌避意識の解消のための教育・啓発の推進
- ② 相談・支援体制の充実

交際相手や結婚相手が被差別部落出身者であるかどうかを6人に1人、職場では27人に1人が気にする結果だよ。



「寝た子を起こすな」との決別

ネット上には、差別する側の誤った情報、断片的な情報、興味本位な情報が見受けられ、それに影響されネットで部落差別的な書き込みが増えるという現状が問題となっています。

● 現代的レイシズムが問題になっています。

- アメリカでは1980年代から、知られてきた概念です。
- 市民としての権利を「ゼロサム」（一方の利益が他方の損失になり、足し合わせるとゼロになる、という物の見方）と捉え、自分自身の不安や生きづらさを「自分が持つべき権利をマイノリティに奪われたから」と理由づけることで問題となっています。
- 例えば、
 - ① 差別はすでに存在しない。
 - ② 差別によるものではなく単に本人たちの努力不足によるものである。
 - ③ 当事者はありもしない差別に対する抗議を続けている。
 - ④ その結果、手厚い社会保障などの不当な特権を得ている。
- というように、差別解消の活動を攻撃する方向に向かうのです。

部落問題もいじめと同じで、ネット上で行われているさらし行為、攻撃的差別に対して、「私は差別していないから関係ない」という「無関心」の立場でいると、部落差別は解消しません。正しく知ることが大切です。



マイノリティ（少数者）の方々も含めて、「誰一人取り残さない」理念を考えていきましょう。

6 外国人の人権問題では…

- 外国人労働者の増加している現状、労働における処遇の悪さといった意見、母国と生活環境の違いや言葉により地域になじめないなどの意見が見受けられた。

ほかにもこんな意見が…

- 外国人労働者の不当な扱い。低賃金・長時間労働等。
- 自治会内に外国人が増え、生活習慣や文化への理解等、お互いに理解し合い生活できるとよいと思う。
- 地域に馴染めない外国人がいる。「わからない」は偏見に繋がるため、地域との橋渡しが必要。

栃木市でも外国人児童生徒が増えています。同じ栃木市民として、共存していきましょう。



これからの取組

- ①多文化共生意識を育む教育・啓発の推進
- ②外国人への支援



7 インターネットによる人権問題では…

- インターネットは、情報発信が技術的・心理的に容易にできる利便性がある反面、発信者側に匿名性があるといった面があり、特定の個人を誹謗中傷する表現や差別を助長する表現などの人権を侵害する事案が問題となっていることがうかがえた。

ほかにもこんな意見が…

- 誹謗中傷、言葉の暴力は身体的暴力と同じぐらい罪があると思う。子どもたちが犠牲にならないためにも、取り締まってほしい。
- SNS等での人権侵害では、一番身近であるとともに、一番危険性が高いと感じる。
- ネット、SNSでの誹謗中傷に法的に対応してほしい。

これからの取組

- ・インターネットの適正な利用に関する教育・啓発を推進する。



8 多様な性にかかわる人権問題では…

- ・性的マイノリティ（LGBTQ等）と告白されたときは、「考えを正す」「受け入れるには時間がかかると思う」などの少数意見があったが、「本人が生きたいように手助けをする」の割合が増加している。

LGBTQ等（性的マイノリティ）当事者は、8%との調査結果が出ています。生きづらさを抱えている人が周りにいます。
※日本労働組合総連合会 2016調査

ほかにもこんな意見が…

- ・まだまだ広くは知らされていない問題であり、声をあげられない方々も多いのではないかと思います。その方らしい生き方が保障されてほしいと願う。
- ・今県でもパートナーシップ宣誓制度が始まったが、始まっても知っている人が少ない。
- ・同性婚を始め、同性同士での生きやすさ、暮らしやすさ。

これからの取組

- ・人権意識の推進と支援に努める。

LGBTQとは、

レズビアン（女性同性愛者）、ゲイ（男性同性愛者）、バイセクシュアル（両性愛者）、トランスジェンダー（心と出生時の性別が一致しない人）、クイアまたはクエスチョニング（決めたくない、迷っている、決められない）それぞれの頭文字をとった言葉で、性のあり方が少数派の人々を広く表す総称のひとつです。



令和2（2020）年10月に、「『ビジネスと人権』に関する行動計画（2020-2025）」が策定され、今後政府が取り組む各種施策や企業活動における人権デュー・ディリジェンス（企業活動における人権の影響の特定、予防・軽減、情報提供を行うこと）導入促進への期待が表明されています。

9 働く人の人権問題では…

- ・長時間労働、非正規就業や所得格差、職場でのさまざまなハラスメント（嫌がらせ）、障がい者や外国人の雇用や処遇、男女の均等待遇や仕事と生活（家事・子育て）の両立支援などの意見が見受けられた。

ほかにもこんな意見が…

- ・もっと子育て世代に寄り添う対応をしてほしい。
- ・職場でのパワハラ・セクハラは今後も様々なところで存在するので、引き続き取り組んでほしい。
- ・コロナの影響もあり、働き方の多様化が見られている。だからこそ、職場のメンタルヘルスは重要と考える。

これからの取組

- ・職場における人権意識の推進と支援に努める。

10 災害に伴う人権問題では…

- ・避難生活でのプライバシーの確保のほかに、介護の必要な人、妊産婦、乳幼児、難病患者、日本語の話せない外国人など、避難者の多様なニーズに対応した支援や配慮への意見が見受けられた。

ほかにもこんな意見が…

- ・災害時後の将来の不安。
- ・被災者への行政による積極的なフォロー。
- ・十分な心のケアや各種支援の必要性。
- ・精神的ショックや不安へのサポート。

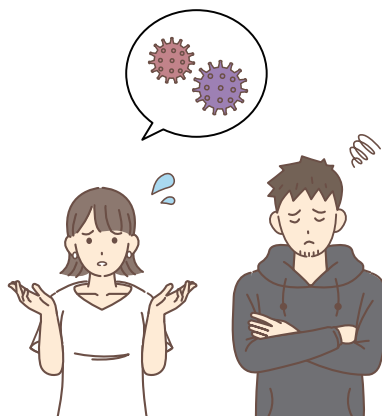


これからの取組

- ・人権尊重の視点に立った災害対応を推進する。

11 感染症にかかわる人権問題では…

- ・目に見えないウイルス感染による不安からくる過度の危機意識が偏見や差別を増長するとの意見がみられた。



ほかにもこんな意見が…

- ・科学的根拠に基づく正しい理解の促進。
- ・分からなくて不安になってしまっている方々も多く、知って、理解していくことが大切だと思う。
- ・必要以上に遠ざけたり隔離したり、二度とハンセン病のようなことがあってはならないと思う。

これからの取組

- ・感染症等に対する正しい理解を深め、偏見や差別意識の解消を図る。

12 犯罪被害者とその家族の人権問題では…

- ・2次被害、偏見など。
- ・被害者やその家族のプライバシーが守られない。
- ・被害者を守る仕組みや充実したケアの必要性。
- ・現在ケア、支援等が不足している。



これからの取組

- ・人権意識啓発の推進と、関係機関と連携した自立支援に努める。

13 刑を終えて出所した人

の人権問題では…

- 偏見・差別、不利な扱いなど。
- 刑期を終えて社会復帰しようとしても、本人はもちろん家族への目も厳しい。
- 支えてあげる場所を作ってほしい。



これからの取組

- 人権意識啓発の推進と、関係機関と連携した自立支援に努める。

14 ホームレス等生活困窮者

にかかわる人権問題では…

- 差別的な言動。
- じろじろ見たり、避けたりする。

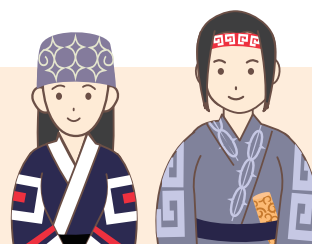
これからの取組

- 人権意識啓発の推進と、関係機関と連携した自立支援に努める。

15 アイヌの人々

の人権問題では…

- 偏見と無知。
- 独自の文化や伝統への無理解、開拓以前からの先住民への無理解。



これからの取組

- 人権意識啓発の推進に努める。

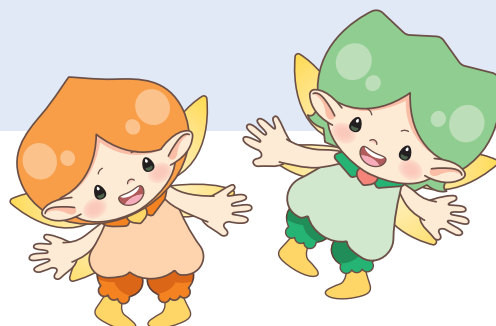
16 北朝鮮による拉致問題

の人権問題では…

- 人権侵害以上の問題。
- TV等で拉致問題を取り上げた時にしか考える事がない日々になっているが、子を持つ親としては、拉致された恐怖、連れ去られた悲しさを思うと、国と地方が、みんなで「絶対に連れ戻す」との気持ちで取り組んでほしい。

これからの取組

- 人権意識啓発の推進に努める。



市民の意識は…

- ・老若男女、考えの多様化に対応できる柔軟な精神と時代の変化にも順応できるように心がけたい。
- ・アンケートに選ばれて、自分は今まであまり考えたことがなかったことに気づいた。少し勉強してみようと思う。せめて、問11の法津*のを知りたい。
*障害者差別解消法、ヘイトスピーチ解消法、部落差別解消推進法
- ・18歳で成人になりたてで、右も左も分からないが、少しでも力になればと思う。改めて人権について考えさせられた。

市の取組みに対しては…

- ・栃木市が差別をなくし、市民一人一人が幸せになれるとよい。
- ・栃木市はいい街だなと思った。難しい課題だが取り組み頑張ってる！応援している。
- ・幸せに生きる権利がすべての人が享受できる、人に優しい街づくりが進められるとよい。
- ・取り組むべき人権問題は、すべて重要な問題。すべてに取り組んで。
- ・誰でも参加できるような、人権問題に取り組めるように機会を作ってほしい。

これからの取組

- ・これまでに挙げた他の人権問題、例えば、性的搾取^{さくしゅ}、強制労働等を目的とした人身取引や社会環境の変化等に伴い新たに生じる人権問題などに対し、すべての人の人権が尊重される社会を目指し、あらゆる機会を通じて人権教育・啓発の推進を図り、相談・支援など包括的に問題解決を推進していきます。
- ・マジョリティ（社会的に強い立場である人、多数派）に対し、マイノリティ（社会的に弱い立場にある人、少数派）は、声を上げづらい現状を認識し、「マイノリティの人権」を尊重して公平な社会を目指します。



栃木市マスコットキャラクター
とち介

栃木市生活環境部人権・男女共同参画課

〒328-8686 栃木市万町9番25号

TEL 0282-21-2161

FAX 0282-21-2692

ホームページ <https://www.city.tochigi.lg.jp>

